

これならわかる！

草 枕

夏目 漱石



目次

本文

一. 非人情の旅のはじまり (季節は春、七曲りといわれる山路を登る)	1~ 11
二. 志保田の嬢様のうわさ話 (峠の茶屋の婆さんから那美のうわさを聞く)	12~ 22
三. 那美との出会い (夢うつつの中、那美とおぼしき女性が現れる)	22~ 34
四. 那美との禅問答 (那美の知性と美しさに惹かれつつ、話をする)	35~ 48
五. 床屋の親方との会話 (那美は気が狂っていると聞く)	48~ 60
六. 人生や芸術について思う (思索中、那美の奇妙な行動を目にする)	60~ 72
七. 温泉場での那美 (湯槽に浸っていると突然、那美が入ってくる)	73~ 81
八. 茶会の席 (主催者那美の父、大徹和尚と古美術品について論評し合う)	81~ 92
九. 那美との会話 (互いに読書論を展開中、地震が起こる)	92~102
十. 鏡が池散策 (源兵衛から志保田家のことや池の名の由来を聞かされる)	102~113
十一. 観海寺訪問 (大徹和尚から那美は訳のわかった機鋒の鋭い女と聞く)	113~125
十二. 海に見える山中での出来事 (那美が別れた夫に会うところを目撃する)	..	125~141
十三. 出征する久一の見送り (那美に憐れを見出し、胸中の画面が成就する)	...	142~150

資料編

1. 制作時期 2. 書誌情報	151
3. あらすじ	152~153
4. 本文に登場する主な絵画及び那古井の宿	154~160
5. 熊本の漱石 6. 漱石年表	161~167
草枕の道コースマップ	168